

委員会の焦点

総務生活

東山霊園へ合葬墓設置

核家族化や少子高齢化が進む中で、後継者不在などの理由により永続的に管理できる墓（永代供養墓）を求めるニーズが高まっています。市ではこれに応え、東山霊園内に「合葬墓」を設置することとなり、これに伴う塩尻市霊園条例の一部を改正する条例を審査しました。

合葬墓は、多数の遺骨を一緒に埋葬する施設であり、生前での申し込みも可能となっています。

使用料は、個人ごとの遺骨を納骨壇で管理する「個別埋蔵室」が20年間で一体15万円、複数の遺骨を一つにまとめて管理する「共同埋蔵室」が永年で一体5万円の使用料となります。

また、個別埋蔵室には一体用が14壇、二体用は84壇の納骨壇が備えられ、共同埋蔵室には一千体分の遺骨が納められることなどが示され、これを了承しました。

なお、募集は29年度からの予定です。



建設中の合葬墓

福祉教育

市の公共施設使用料 使用実態に合わせて

体育施設の使用料改定をめぐめる審査では、照明使用料を電気料の実態に合わせて改定したという説明がありました。各グラウンドの照度が低いという住民の声があるという意見に、他市の状況も今後調査し、支障木伐採などの対応をしたいという答弁がありました。



中学校の夜間照明

「給付型奨学金制度の創設等を求める意見書の採択を求める請願」は趣旨説明と質疑の後、賛成多数で採択すべきものと決定、「子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める長野県への意見書の提出を求める請願」は、趣旨説明と質疑討論を行い、賛成多数で採択すべきものと決定しました。

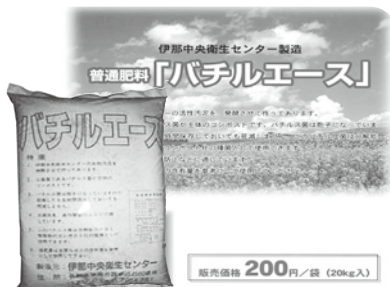
「給付型奨学金制度の創設等を求める意見書の採択を求める請願」は趣旨説明と質疑の後、賛成多数で採択すべきものと決定、「子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める長野県への意見書の提出を求める請願」は、趣旨説明と質疑討論を行い、賛成多数で採択すべきものと決定しました。

産業建設

松くい虫被害拡大への対応

榑川地区の簡易水道事業統合についての条例改正や28年度一般会計補正予算について審査を行いました。補正予算では、農林水産業費について、松くい虫被害が昨年度は11箇所、今年度はすでに43箇所確認されているが、今後の予測は困難であるとの説明を受けました。また、農業経営体育成支援事業に関して「洗馬地区の農地を所有する民間企業に、適切な農地管理をするよう」委員より要望があり、市としては「逐次電話でも対応し、そのほかの農地拡張を行う企業や法人についても、そのつど指導をしている」との答弁がありました。

委員会終了後、本年の市農業委員会建議で取り上げられた、伊那中央衛生センターの汚泥肥料化事業などの視察を行いました。バチルス菌を活用した施設で、においの発生が極限まで抑えられており、市の下水処理場の活用研究を促す有意義な視察となりました。



視察先の伊那中央衛生センターで製造しているバチルス菌を活用した肥料